

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和 6年 9月27日)

事業コード	R6-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸班 (tel) 018-860-2514
路線名等	一級河川 淀川		担当課長名	河川砂防課長 高杉 英幹
箇所名	大仙市協和下淀川		担当者名	チームリーダー 外館 英樹
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤		
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化		
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水害に備えた流域治水対策の推進		

1. 事業の概要

事業期間	H2 ~ R12 (41年)	総事業費	165.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=14,150m、計画高水流量Q=600m <sup>3</sup> /s (1/10)					
事業の 立案に至る 背景	<p>淀川は、国道341号沿いに大仙市を貫流し、雄物川に流入する一級河川である。                  下流の一部に堤防が存在するものの、ほとんどが無堤区間であり、河川断面は狭小で線形は蛇行している。このため、豪雨による洪水がこれまで頻繁に発生し、近年では、平成29年7月22日から23日に停滞した梅雨前線の影響で甚大な洪水被害が発生している。                  また、下流本川雄物川の水位上昇に影響され、支川である淀川の水位も上昇する背水現象が発生し、大きな冠水被害が生じているため、早期の改修が必要である。</p>					
事業目的	淀川沿川の地域住民の生命と財産を守るため、河川断面不足の解消や線形の是正等による河川改修を実施し、浸水被害から地域住民の生命・財産を保全し、安全・安心な地域づくりを推進し、もって県土の保全と防災力を強化する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	13,000,000	16,500,000	3,500,000		
	経費内訳	工事費	10,150,000	12,109,000	1,959,000	橋梁設計の結果による構造変更及び軟弱地盤対策の増、樋門設計の結果による軟弱地盤対策の増、築堤盛土材費の増
		用補費	1,500,000	1,801,000	301,000	橋梁設計及び樋門設計の結果による用地補償の増
		その他	1,350,000	2,590,000	1,240,000	地質調査の結果による橋梁設計、樋門設計及び用地測量増
	財源内訳	国庫補助	6,750,000	8,250,000	1,500,000	
		県債	6,075,000	7,425,000	1,350,000	
		その他	0	0	0	
	一般財源	675,000	825,000	150,000		
事業内容	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、用地補償	築堤、護岸、河道掘削、橋梁、用地補償				
事業の進捗状況	全体計画 C=165.0億円 令和5年度末投資額 C=122.6億円 進捗率 74.3%					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	「～大変革の時代～新秋田元気創成プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本的な政策として「防災減災・交通基盤」が位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	本河川は沿川に家屋が連担しており、これまで洪水被害が頻発し、地元からは早期完成が望まれているが、用地や家屋の補償に時間を要している。また、淀川計画区間の起点が雄物川本川との合流点となっていることから、国が策定する雄物川水系河川整備基本方針や国直轄河川事業との整合を図る必要があり、国との協議に不測の日数を要した経緯がある。					
事業効果 把握の手法 及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川改修済み延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	46.7% (R5末目標)	データ等の出典	河川砂防課		
	実績値 b	46.8% (R5末実績)				
達成率 b/a	100.2%	把握の時期	令和6年 3月			

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<p>本河川は、国道341号沿いに大仙市協和地区を貫流しており、想定される浸水面積は339haと広大で浸水戸数は358戸と多く、さらに国道341号等の公共施設も含まれることから、事業実施の必要性は高い。</p> <p>また、平成21年には仙北・平鹿圏域河川整備計画を策定しており、当河川においては関係機関との協議もすでに終えている。</p>	30点
緊 急 性	<p>現況河川は流下能力が著しく低く、整備目標600m<sup>3</sup>/sに対して最小箇所では17%となっており、河幅が狭小であるため、出水の度に洪水被害が頻発している。また、重要水防区域に位置付けられていることから、緊急性は高い。</p>	13点
有 効 性	<p>当該区域は、堤流下能力が不足し蛇行を繰り返している河川であることから、築堤及び河道掘削により流下断面を拡大することで、災害防止効果が発現するため有効性が高い。</p> <p>また、緑化に配慮した張ブロック護岸を採用し、河川と親しむ環境の確保を図っていることから有効性は高い。</p>	12点
効 率 性	<p>事業の費用対効果は1.75であり、効率性は高い。</p> <p>また、経済的な線形計画の検討や取水施設・樋管等の統廃合により合理的な設計としている。また、残土仮置場を確保し、効率的な土砂の運用に取り組み、コスト削減に努めている。</p>	11点
熟 度	<p>平成29年7月の豪雨災害をはじめ、浸水被害が多発しており大仙市及び地元住民から河川改修への要望書が提出されている。また、また、淀川計画区間の起点が雄物川本川との合流点となっていることから、国が策定する雄物川水系河川整備基本方針や国直轄河川事業との整合を図る必要があり、国との協議に不測の日数を要したことから、進捗は遅れている。</p>	23点
判 定	<p>ランク ( ● I ○ II ○ III )</p> <p>多くの項目において評価点が高く、地域住民の生命と財産を守り、また県土の保全と防災力の強化を推進する上でも有効な事業箇所であり、事業を継続すべきと考える。</p>	89点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 河川改修事業

事業コード ( R 6 - 建 - 継 - 0 7 )  
箇所名 (一級河川 淀川 大仙市協和下淀川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	358戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	339ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	国道341号 秋田自動車道 協和中央浄化センター	
		1施設以上	3			
		なし	0			
	整備計画の策定					
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	平成21年度策定		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	計画流量 : 600m <sup>3</sup> /s 現況流下能 : 100m <sup>3</sup> /s 17%	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	区分B (R6水防計画書)		
	評定基準区分B	3				
計			15	13		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	改修により効果あり	
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	緑化に配慮した護岸整備	
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	0	開発予定なし	
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	12		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.75	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	3	排水樋管の統廃合 残土仮置場確保による 他工区流用土の再利用	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	3	事業費見直し 130億→165億 26.9%増		
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	11		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	H29年度から計16回の 事業説明会を実施	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	大仙市要望書 R6.9.11	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	8	(R5末) 122.6億円/ (計画) 165.0億円 = 74.3%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環 境配慮事項)	3事項以上	5	5	工事影響範囲が最小になる計画 省エネ等配慮の建設資材を活用 近接家屋への影響対策		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	23		
合計			100	89		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		